

報告事項エ

平成26年度県立高等学校入学者選抜学力検査結果（得点状況等）について

平成26年度県立高等学校入学者選抜学力検査結果（得点状況等）について、別紙のとおり報告します。

平成26年4月15日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

平成26年度鳥取県立高等学校  
入学者選抜学力検査における得点状況

鳥取県教育委員会



## 平成26年度鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査における得点状況

### 1 教科別得点の平均点及び総得点の平均点(全日制課程)

年 度	国語	社会	数学	理科	英語	総得点
平成26年度	25.6	24.9	28.5	26.7	30.7	136.3

平成26年度入学者選抜学力検査5教科受検者数 3,616人  
各教科50点満点、合計250点

(参考)

年 度	国語	社会	数学	理科	英語	総得点
平成25年度	23.5	27.1	27.5	25.2	27.1	130.5
平成24年度	25.3	30.0	22.8	29.2	26.6	133.9
平成23年度	24.9	29.1	23.2	29.1	26.8	133.1
平成22年度	29.1	30.2	26.5	25.4	22.2	133.3
平成21年度	25.2	24.9	29.5	23.2	23.7	126.6
平成20年度	25.2	27.8	21.2	25.5	31.1	130.7
平成19年度	29.8	29.2	21.0	28.7	26.0	134.7
平成18年度	30.6	24.7	17.6	25.7	28.3	127.0
平成17年度	24.9	30.5	22.9	25.9	28.1	132.2
平成16年度	32.8	28.4	27.6	32.0	27.8	148.6
平成15年度	34.6	29.2	23.9	28.1	27.3	143.1

各教科50点満点、合計250点

<学力検査得点状況に見られる傾向>

国語・・・読み取りの難度の高い文章を題材としたが、基礎的な問題の正答率が概ね高かったため、平均点は上がったものと思われる。

社会・・・単純な記憶を元にした単発式の問題ではなく、「図やグラフを読み取って答える問題や用語の意味が理解できていないと答えることができない問題」を多く出題したため、平均点が下がったと考えられる。

数学・・・問題文などから複数の条件を把握し処理する問題を、各学年・各領域からバランスよく出題したが、全般的に基礎的・基本的な事項を重視した出題としたことから平均点が上がったと考えられる。

理科・・・複数の単元にわたる幅広い知識や理解度を問う総合的な問題を出題したが、全般的に基礎的・基本的な事項を重視した出題としたことから、平均点が上がったと考えられる。

英語・・・長文の単語数をやや増加させたが、例年より平易な英文としたため、平均点が上がったと考えられる。しかし、英語で自分の考えを表現する設問や、本文の内容を正確に読みとって答える設問においては、得点分布が二極化傾向を示しているものと考えられる。

## 2 各教科及び総得点における得点分布(全日制課程)

【各教科における度数分布】

得点		教科	国語	社会	数学	理科	英語
0	～	2	0	0	16	2	2
3	～	4	1	10	41	11	8
5	～	6	6	32	51	25	16
7	～	8	14	86	75	81	44
9	～	10	28	145	85	111	66
11	～	12	53	176	101	154	117
13	～	14	105	209	128	175	139
15	～	16	137	215	129	214	156
17	～	18	223	250	134	208	179
19	～	20	270	213	129	213	177
21	～	22	322	241	171	200	148
23	～	24	369	224	158	206	177
25	～	26	432	209	216	210	144
27	～	28	410	248	234	200	143
29	～	30	356	216	252	198	154
31	～	32	320	220	218	203	156
33	～	34	229	192	262	206	150
35	～	36	154	175	242	191	189
37	～	38	85	168	241	166	222
39	～	40	71	156	211	195	271
41	～	42	21	114	188	158	263
43	～	44	8	50	154	139	248
45	～	46	2	48	110	84	257
47	～	48	0	16	61	56	151
49	～	50	0	3	9	10	39
受検者数			3,616	3,616	3,616	3,616	3,616

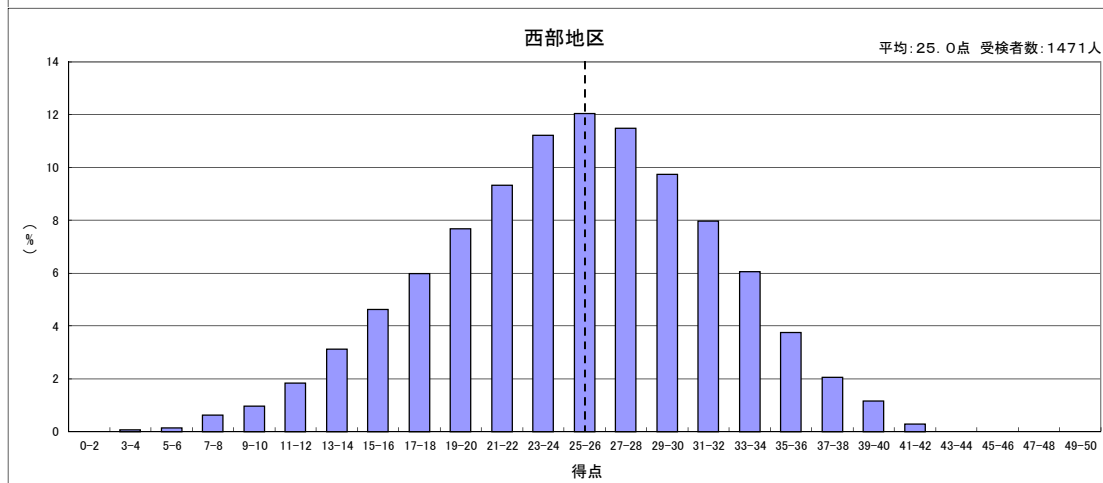
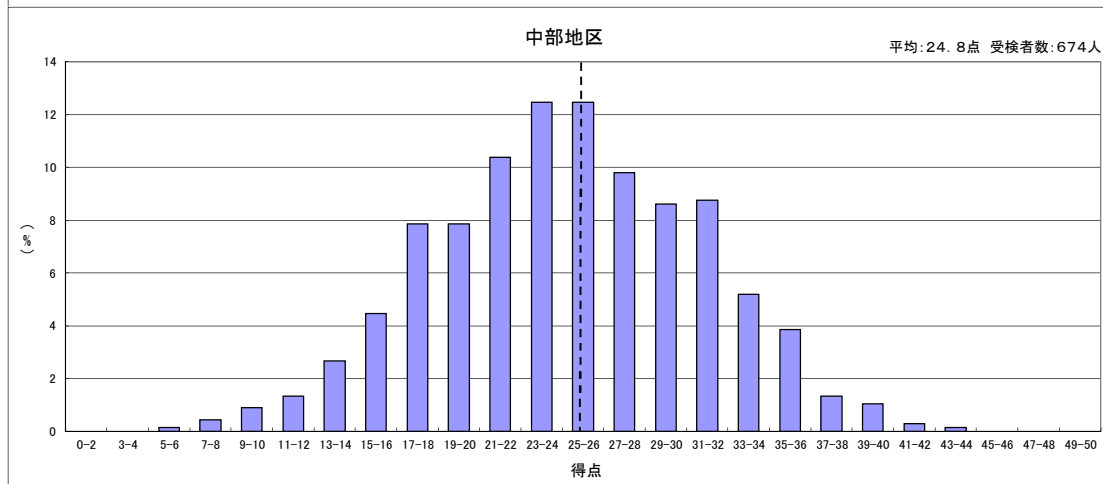
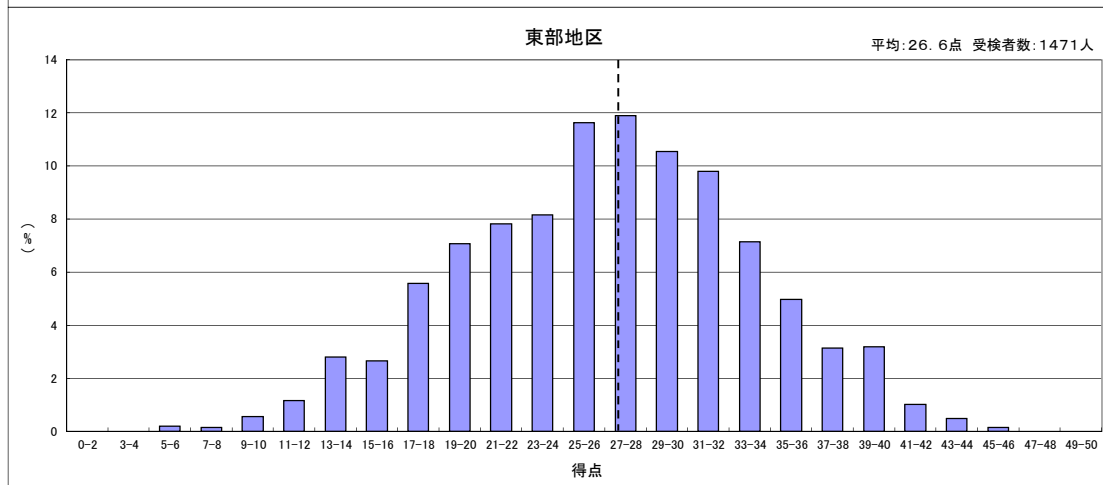
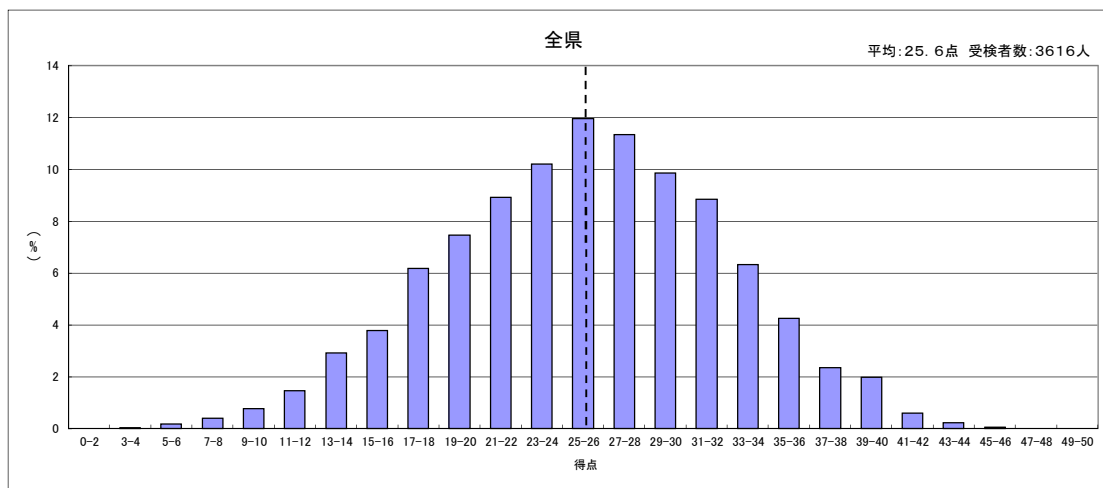
(人)

【総得点における度数分布】

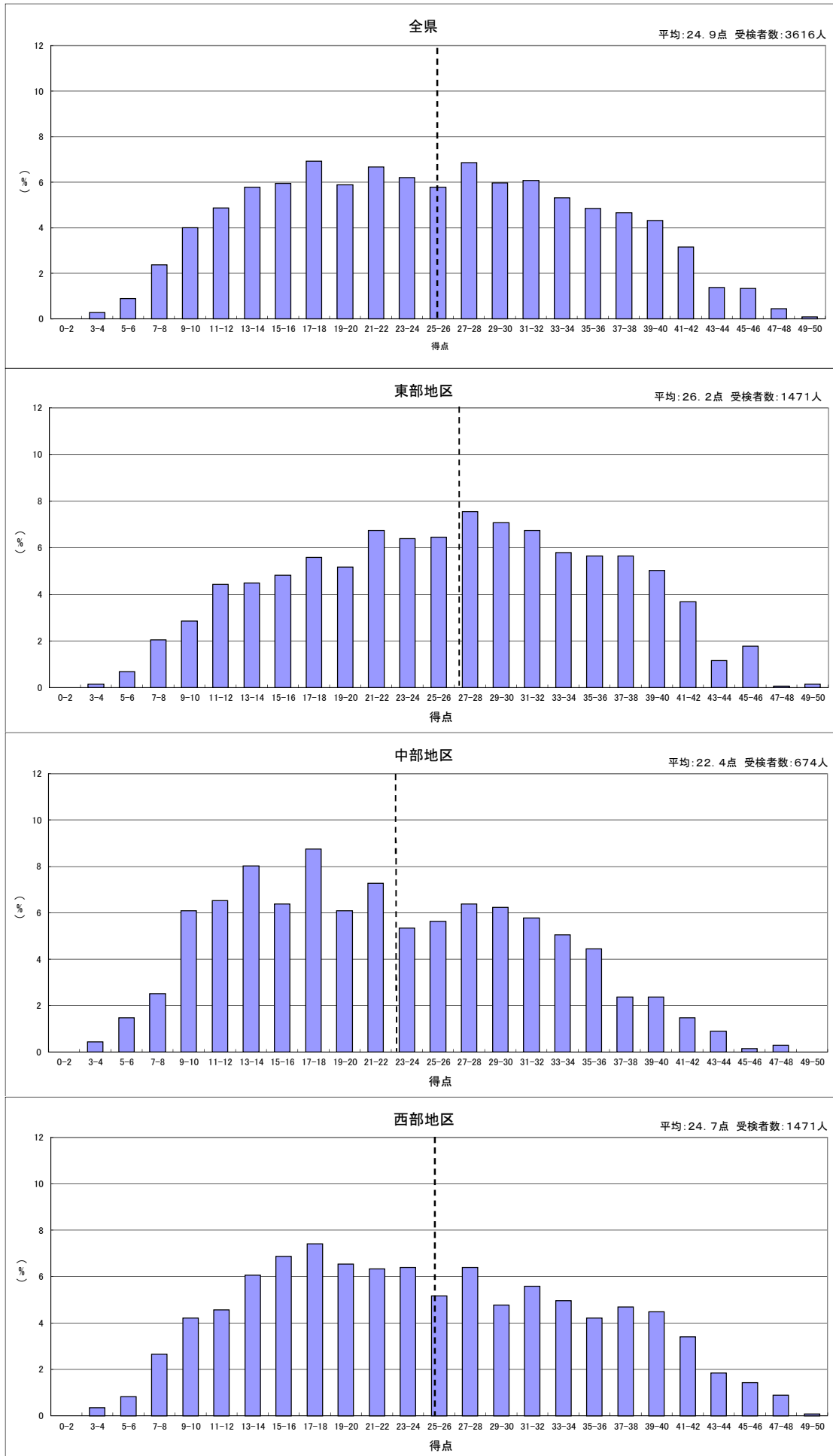
総得点	人数
0	0
5	0
6	0
10	0
11	0
15	0
16	0
20	0
21	1
25	1
26	3
30	3
31	11
35	11
36	11
40	11
41	20
45	20
46	26
50	26
51	41
55	41
56	43
60	43
61	64
65	64
66	86
70	86
71	93
75	93
76	95
80	95
81	103
85	103
86	97
90	97
91	114
95	114
96	109
100	109
101	121
105	121
106	110
110	110
111	112
115	112
116	114
120	114
121	118

総得点	人数
126	98
130	98
131	120
135	120
136	150
140	150
141	129
145	129
146	114
150	114
151	120
155	120
156	132
160	132
161	121
165	121
166	132
170	132
171	146
175	146
176	135
180	135
181	143
185	143
186	127
190	127
191	110
195	110
196	92
200	92
201	95
205	95
206	65
210	65
211	44
215	44
216	25
220	25
221	21
225	21
226	4
230	4
231	1
235	1
236	0
240	0
241	0
245	0
246	0
250	0
受検者数	3,616

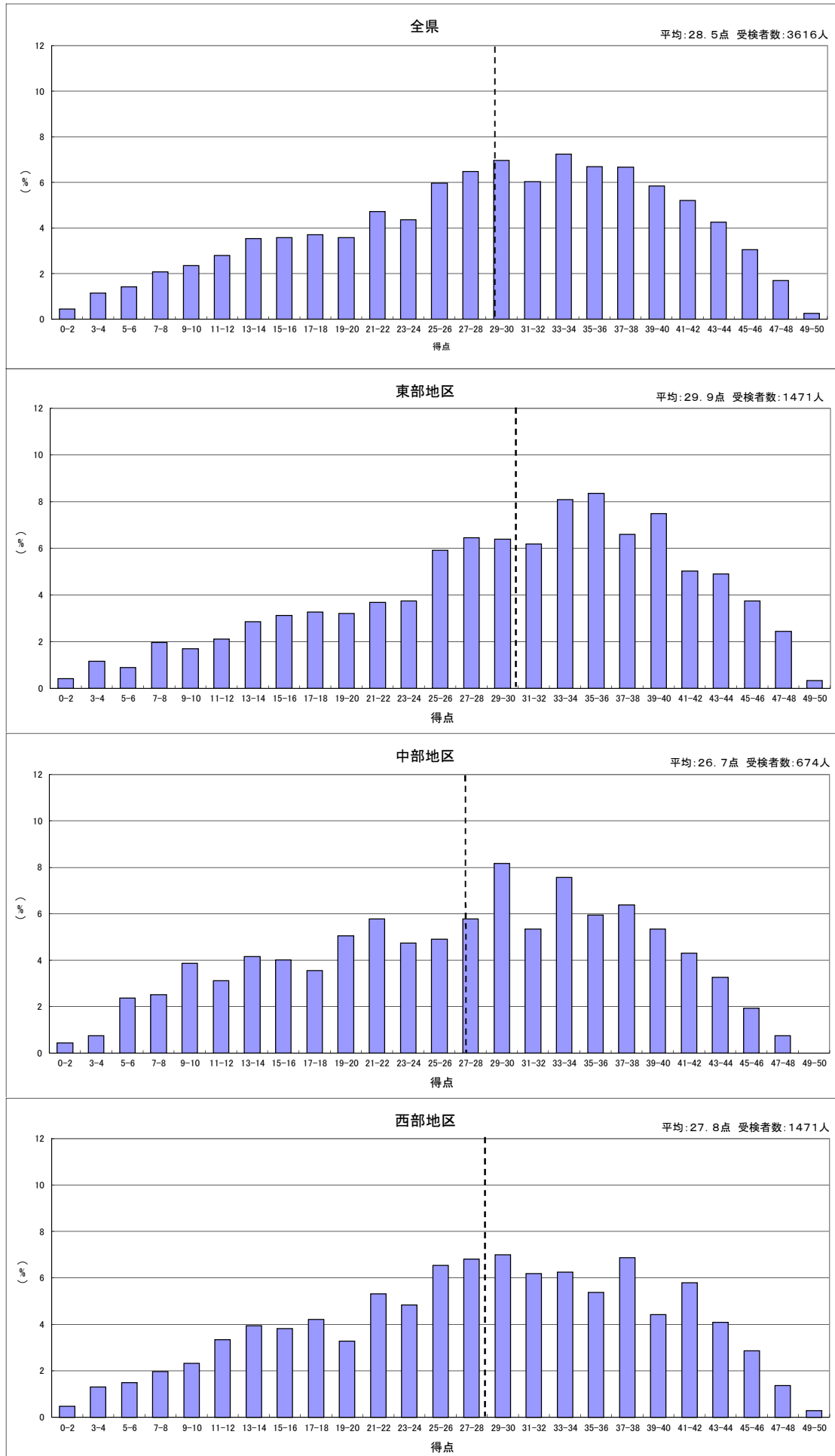
# 平成26年度 入学者選抜学力検査における得点状況【国語】



# 平成26年度 入学者選抜学力検査における得点状況【社会】

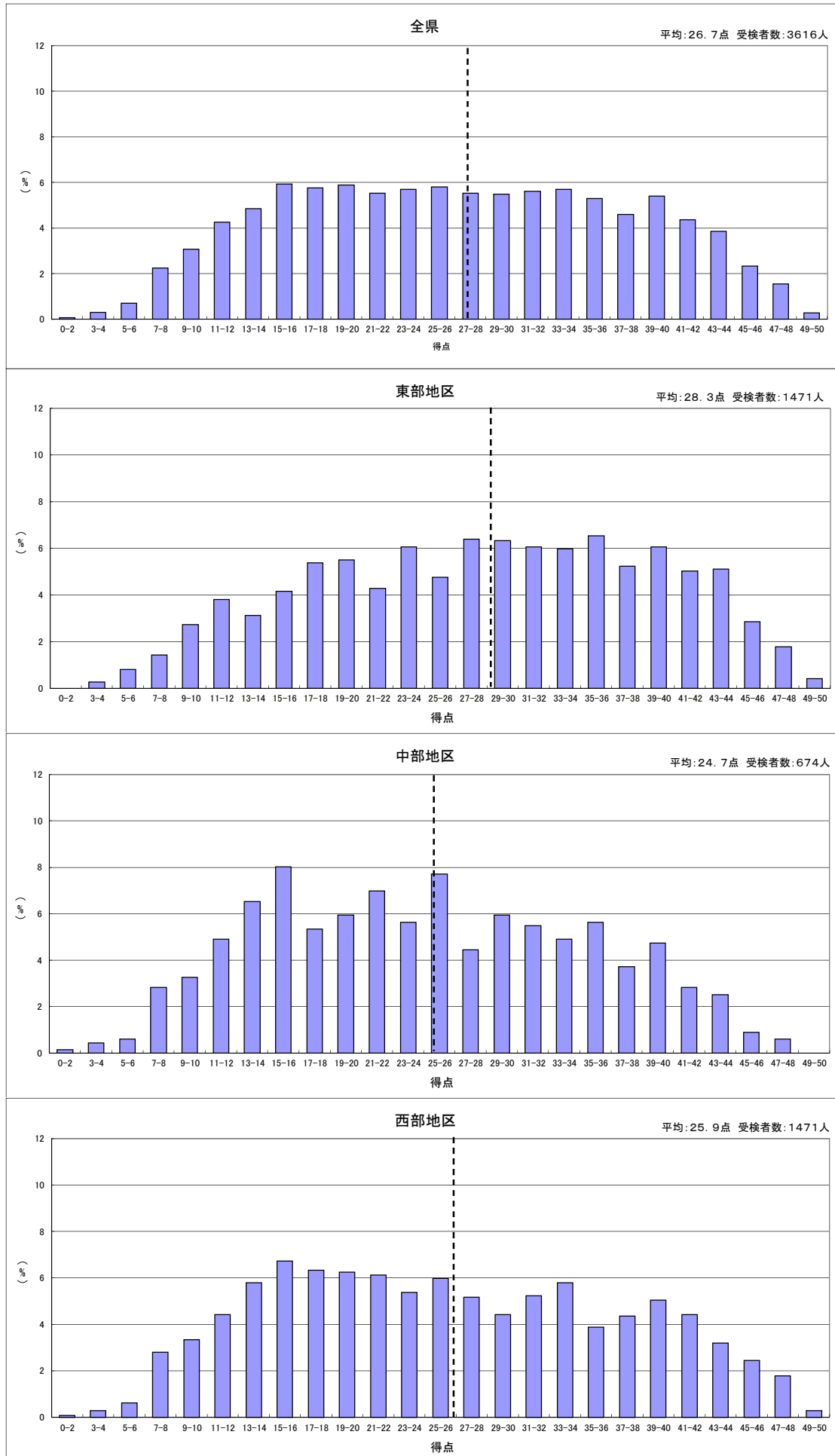


# 平成26年度 入学者選抜学力検査における得点状況【数学】

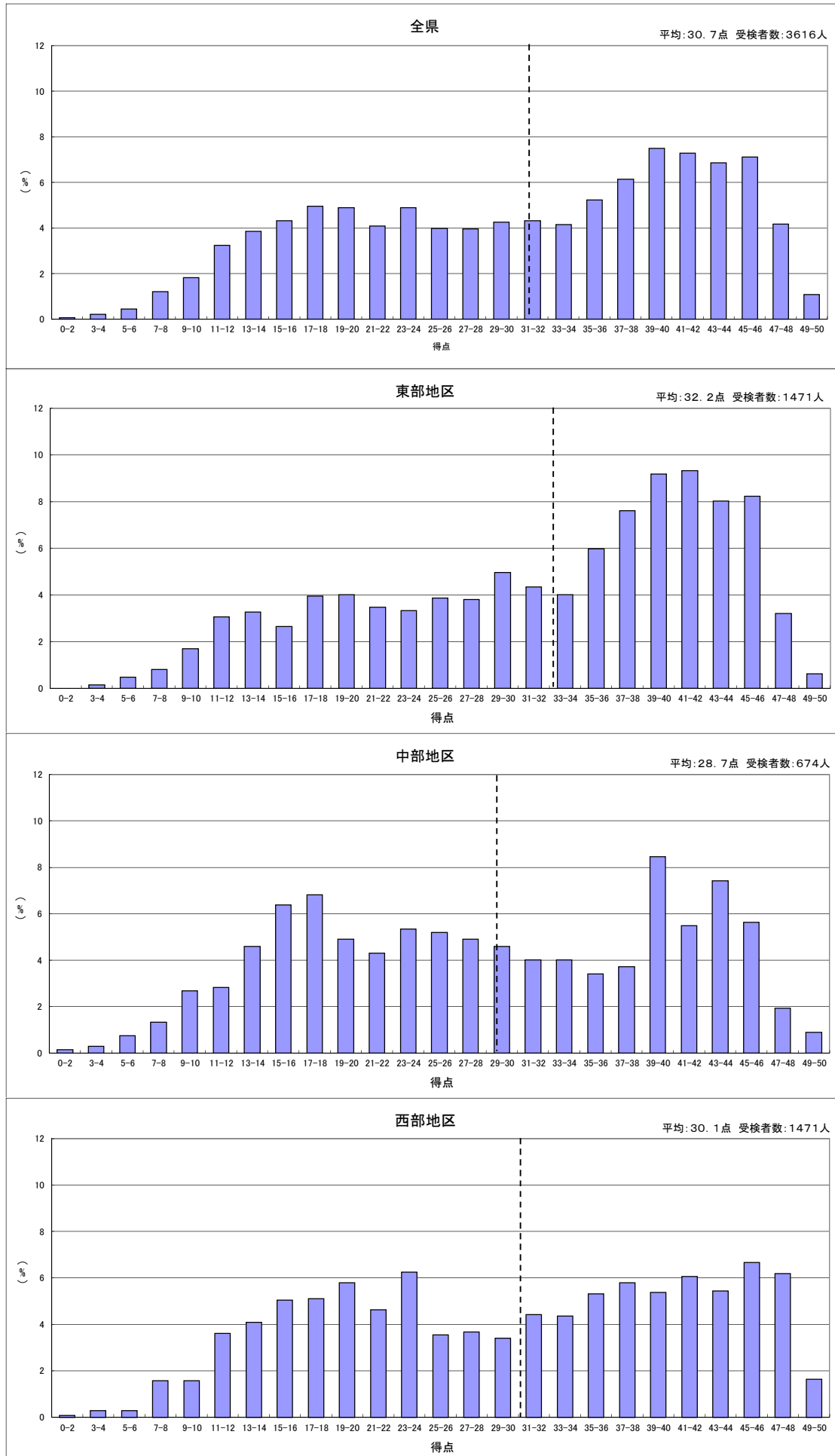




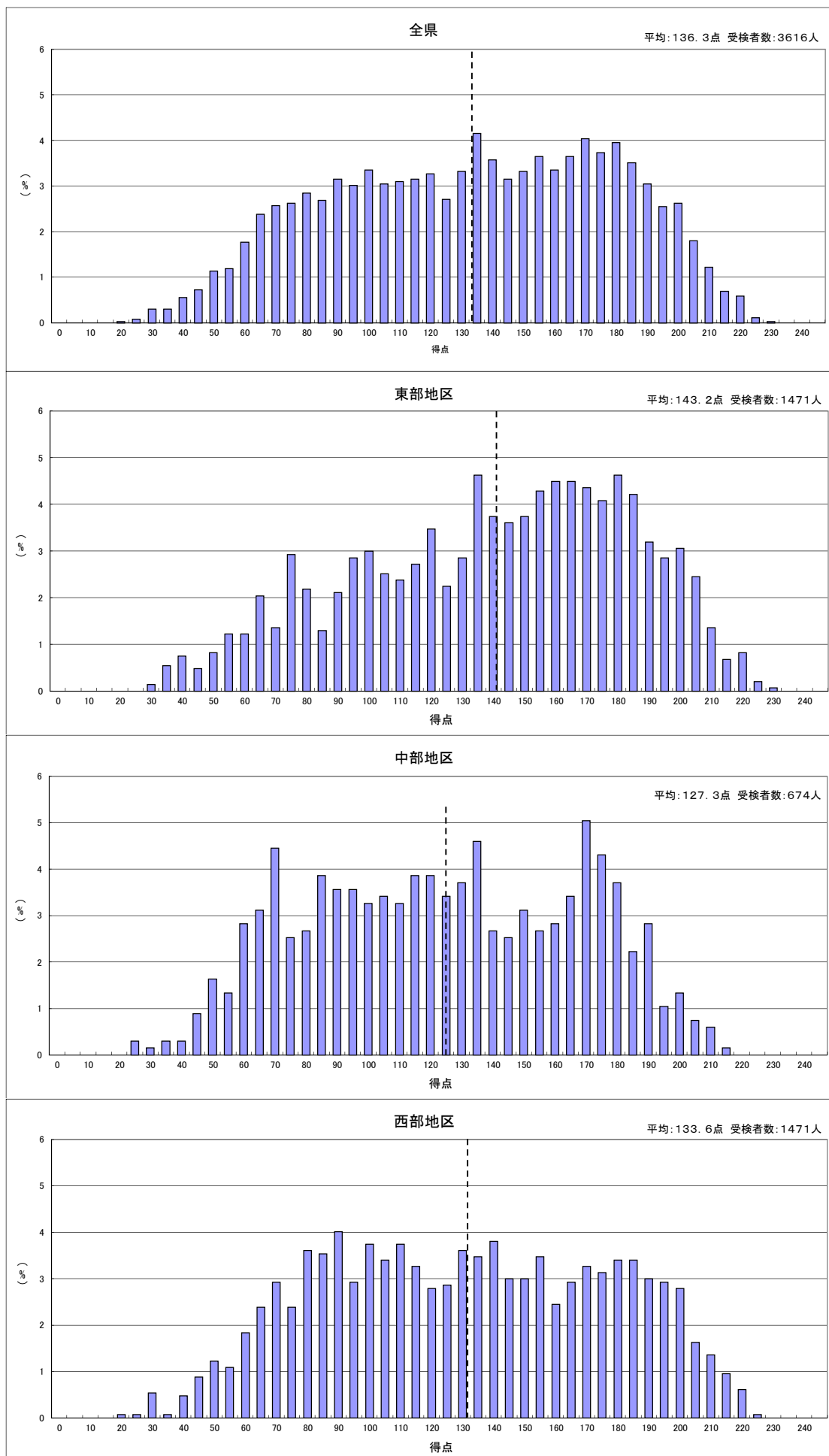
# 平成26年度 入学者選抜学力検査における得点状況【理科】



# 平成26年度 入学者選抜学力検査における得点状況【英語】



平成26年度 入学者選抜学力検査における得点状況【総得点】



平成26年度鳥取県立高等学校  
入学者選抜学力検査分析

鳥取県教育委員会



## 《 考 察 》

### 【 国 語 】

国語については、基礎的・基本的な言語事項の問題を各分野から多く出題するとともに、応用的な問題や記述式の問題などのバランスに配慮して出題した。これらの正答率や平均点、得点の度数分布から見ると、基礎的・基本的な問題のうち、語句に関する問いでの正答率は概ね高いが、前後の文脈から判断して内容を読み取る問いでは正答率は低く、記述式問題については、無答の解答が目立った。本文の表現内容を部分的に捉えるのではなく、全体の中で考察、吟味したり、設問の意図を理解して的確に説明したりする力や語彙力の育成とともに、読書傾向の幅を広げることも重要である。

### 【 社 会 】

社会については、基礎的・基本的な知識、概念や技能を問う問題や習得した知識を活用し表現する問題を出題した。知識の習得に関する内容については概ね理解できていたが、習得した知識を活用し表現する内容についての正答率は低かった。また、地図の読図や領土に関する内容など学習指導要領の改訂のポイントとして強調されている内容についての正答率が低かったことは課題である。特色ある事象を他の事象と関連付けて学ばせる学習や、説明したり意見交換したりしながら自分の言葉で表現する学習の充実を図り、自ら考えようとする力を一層工夫して育てていくことが必要である。いずれの分野においても、日常の社会生活と関連付けながら今日の社会的な問題に対する関心や意欲を高め、基礎的・基本的事項を理解した上で、さまざまな角度から広く考察し、公正に判断して自分の言葉で適切に表現する学習の充実を図ることが重要である。

### 【 数 学 】

数学については、基本的事項を問う問題を多く出題するとともに、表・図・グラフ・資料を積極的に活用して課題を解決する問題を多く出題した。教科書や問題集等で学習した型どおりの問題は正答率が高かったが、問題文などから複数の条件を把握し処理する問題や考察過程を数学的に表現する問題では、問われている内容の難易にかかわらず誤答率が高かった。これは、型どおりには処理できない問題や、型にはめるまでに試行や多段階の思考を要する問題において、問題文を正確に把握した上で、補助線を引く、表を作る、条件に合わせてグラフや図を描くなど、具体的な操作を通して論理的に問題をとらえる力に課題があると考えられる。そのために論理的に考察した結果を数式やグラフ、図などで表現したり、説明する力を育成していくことが重要である。また、除法を含む計算に課題があり、基本的な除法計算の習熟が必要である。

### 【 理 科 】

理科については、基礎的・基本的事項を問う問題から、複数の単元の学習内容を総合的に問う問題まで幅広く出題した。基礎的・基本的事項を問う問題は正答率が高く、概ね良好であったが、科学的な思考力を必要とする問題は全体的に正答率が低かった。日頃の授業において、目的意識を持って観察、実験を行い、結果を簡潔にまとめ、考察する能力を育成するための指導の工夫が必要である。また、作図や化学反応式の問題は正答率が低く、文章記述の問題では無答率も高かった。平素から、実験や観察の結果をグラフや図、化学反応式などを用いてまとめたり、自分の考えを論理的に説明したりする学習活動を充実させ、科学的な表現力を育成することが重要である。

### 【 英 語 】

英語については、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の3つの領域にわたって、英語の知識や、それらを活用した表現と理解の能力を測るために、比較的短い文から、まとまりのある長い文章まで出題した。短い英文を聞き取ったり、説明文の概要を読み取ったりする問題の正答率は高かったが、日常生活の場面を英語で説明する文を書いたり、長い文章を読んで、書かれている内容を要約して解答したりする問題は正答率が低かった。身近な出来事や体験したことなどについて英語で表現する指導や、まとまりのある文章を読んで書かれていることを理解し、概要について自分の言葉でまとめて表現する力を育成する指導が重要である。また、よく使われる表現については、実際に使われる場面を想定して指導することが必要である。

## 《 国 語 》

### 【出題の基本方針】

- 1 国語の基礎的・基本的事項についての知識を問うとともに、その理解力を見る。
- 2 論理的な文章を読むことを通して、筆者のものの見方や考え方、論の展開を的確に読み取る力や読み取った内容を与えられた条件に従って表現する力をみる。
- 3 文学的な文章を読むことを通して、文章に描かれた場面、心情、表現の特色などを的確に読み取る力や、読み取った内容を与えられた条件に従って表現する力をみる。
- 4 古文を読むことを通して、古文の基本的な事項や記述された内容について、理解する力をみる。
- 5 与えられた条件に従い、自分の考えをまとめ作文する力をみる。

### 【結果の概要】

- 1 問題一は、小問集合形式による出題とし、基礎的・基本的事項及び日常生活において必要となる国語の力をみた。漢字の読み、また毛筆に関する問題の正答率は高く、中学校での学習指導の定着がうかがえた。しかし、熟語の構成に関する問題の正答率はやや低く、語彙力を身につけるためにも、辞書的な意味を知るだけでなく、実際に使う機会を増やすなどして、言葉に関する知識を広げていく必要がある。
- 2 問題二は、説明的文章とし、基礎的な言語事項と筆者の論の展開、表現内容を理解する力を問う問題構成とした。題材が、普段なじみのない言葉や比喻表現が用いられた、やや難しい文章であったためか、全体的に正答率は高くなかった。特に、部分と全体、抽象と具体を行き来しながら筆者の主張をとらえる必要がある問題の正答率が低かった。普段から評論や新聞の論説文などを読むことをとおして、筆者の立場や意図を読み取ったり、論の展開や構成をとらえるようにしたい。
- 3 問題三は、文学的文章とし、基礎的な言語事項と表現内容・登場人物の心情等の読解力を問う問題構成とした。記述式問題の正答率が低く、前後の文脈や本文全体から登場人物の心情等を判断する力の弱さがうかがえる。文学的文章についても論理的文章と同様、感覚的に漠然と読み進めるのではなく、使われている言葉に根拠を求めながら本文全体を読み取ろうとする態度を育成する必要がある。
- 4 問題四は、古典の出題とし、古文の基本的な知識や内容を理解する力をみた。歴史的仮名遣いの問題は正答率が高いが、文脈を理解した上で答える問題は正答率が低い。今後も、音読をとり入れる等して古典に親しむ態度を育成しながら、さまざまな種類の作品に触れ、古典への興味関心を喚起することが大切である。
- 5 問題五は、作文とし、二つの資料を比較して読み取り、与えられた条件に従って、自分の考えをまとめ表現する力をみた。原稿用紙の使い方についてはおおむね対応できていた。また、資料の読み取り易さにより、無答率もかなり低かった。中学校での丁寧な学習指導の成果がうかがえた。

## 《 社 会 》

### 【出題の基本方針】

- 1 日本や世界の地理的事象について、地図、グラフ、気温図などの資料をもとに、その地域の特徴を考察する地理的な見方や考え方が身についているかをみる。
- 2 日本の歴史における各時代の特色や事柄を、写真、年表などの資料をもとに多面的に考察し、歴史の大きな流れなどを大観し、総合的に理解しているかをみる。
- 3 日本の政治や地方自治、経済の基本的なしくみを理解し、社会的な事象について今日の生活とのかかわりの中で考え、判断し、表現する力をみる。

### 【結果の概要】

- 1 問題1は、地理的分野を中心に出题した。地理学習の全般にわたって、基礎的・基本的な知識は習得されている。防災に関連してハザードマップ作成の理由を問うた問題は正答率が8割台であった。一方、問2(3)は、地図上の位置の表し方についての基本的な地理的技能を問うたが、正答率が2割台と低かった。約6割の生徒が誤答の「釜石市」を選択しており、「118F6S」の「S」の意味が理解できていなかったと思われる。問2(5)の「工業団地」は、教科書に繰り返し記載されており、動態地誌的な見方を身に付けていれば解答しやすかったと思われるが、正答率は約2割と低かった。今後も引き続き、地理的な見方や考え方の基礎を養うため、統計などの資料を適切に読み取り、地域的な特色を総合的に判断する力を身に付けさせるとともに、地理的技能の育成を図ることを一層重視したり、動態地誌的な学習による国土認識を充実させたりしていくことが大切である。
- 2 問題2は、歴史的分野に関する出題とした。各時代の特色や基本的な歴史的事象の意味についての理解は進んでおり、元寇の特色を理解しているかをみる問題は正答率が7割を超えた。一方、時代の転換点の基本的な内容を理解し、歴史の流れを把握しているかをみる問題については正答率が4割程度と低かったり、説明を求める問いについては無答率が1～2割程度あったりと、引き続き課題である。また、問2(3)で、領土に関する問題を出题したが、正答率は約4割にとどまり、現在の国境線を表す地図を選択した生徒も2割弱あった。このように領土に関する理解が曖昧な生徒が多く見られるため、地理的分野や公民的分野と関連付けながら理解させる必要がある。今後も引き続き、我が国の歴史の大きな流れを理解させる学習を重視し、歴史について考察する力や説明する力を育成するとともに、近現代の学習の一層重視を図ることが大切である。
- 3 問題3は、公民的分野に関する出題とした。コンビニエンスストアなどを切り口に、基本的な知識、概念や技能の習得状況を問う問題とした。自由貿易、衆議院の優越、地方自治、租税に関する問題については、正答率が約5～6割を占めたが、問1(1)の国会の種類を問う問題では、正答率が2割弱であった。「A通常B特別C臨時」と誤答した生徒が4割を超えており、用語を記憶させるだけでなく、内容についてもきちんと理解させることが求められる。また、問1(3)は、正答率が3割に届かず、約6割の生徒が「生存権」と誤答していた。昨年度の入試でも「参政権」を問う問題の正答率が2割に届いておらず、基本的人権の尊重に関する理解について、依然として課題が残った。今後も引き続き、現代社会についての見方や考え方の基礎を養うとともに、社会の諸問題に着目させ、自ら考えようとする力を一層工夫して育てていくことが大切である。
- 4 いずれの分野も教科書をもとに出题しているが、単純な記憶を元にした単発式の問題ではなく、「グラフや資料を読み解いた上で解答する問題」を用いて、自分で考え、適切に表現する力をみる問題となっている。よって、今日の社会的な問題に対する関心や意欲を高め、基礎的・基本的事項を理解した上で、多面的・多角的に考察し、公正に判断して自分の言葉で適切に表現する学習の充実を図ったり、地理的分野、歴史的分野、公民的分野のつながりを意識したりして学習することが重要である。



## 《 数 学 》

### 【出題の基本方針】

- 1 各学年の学習内容について、基礎的・基本的事項の理解度及び計算力・表現力をみる。
- 2 基本的な概念や原理・法則を活かして、見通しをもって課題を分析し、処理する力をみる。
- 3 数学的な見方や考え方を活用して、対象を論理的に考察し、課題を解決する力をみる。
- 4 日常生活における題材について、数理的に考察し、処理する力をみる。

### 【結果の概要】

- 1 問題1は小問集合とし、各学年で学習する基礎的・基本的事項の理解度及び単純な計算力を見る問題を出題した。概ね正答率が高く良好な結果であったが、2つの単項式の乗除、等式の変形、球の体積を求める問題で誤答率が高かった。文字や記号を用いた式の意味の理解及び操作並びに分数の除法に課題があると考えられるので、問題文をきちんと把握し、基本的な事項を複数組み合わせながら計算する態度の育成が重要である。  
問1(4)、問7は全国学力調査でも出題されているが、調査時より良好な結果であった。
- 2 問題2は、通学時間について整理された資料を考察する問題とした。資料から度数や相対度数を求める問題は正答率が高く良好な結果であったが、平均値を求める問題や条件を満たすヒストグラムを選択する問題は、誤答率・無答率が高かった。ヒストグラムや代表値を用いて資料の傾向をとらえ説明する数学的活動が重要である。
- 3 問題3は、日常生活における題材について数学的な見方や考え方を活用し、数学的に表現することを見る出題とした。割合を利用して100gあたりの値段や売り上げを求める問題は正答率が高く良好な結果であったが、条件を読み取って連立方程式を利用する問題は、誤答率・無答率が高かった。単位換算や問題の中の数量の関係を調べ、数学的に表現していくことに課題があると考えられるので、長さや重さなどのある特定の量に着目して立式したり、表や線分図で表すなどの活動が重要である。
- 4 問題4は、関数 $y=ax^2$ のグラフに関する問題とした。グラフ上に条件を満たす座標をとる問題や面積を二等分する直線の傾きを求める問題は、誤答率・無答率が高かった。グラフや図形の性質を理解し、問題の条件や状況を適切に図に表し考察することに課題があると考えられるので、様々な自然現象等を関数 $y=ax^2$ を用いてとらえ説明することを通して、考察する力を伸ばす指導が必要である。
- 5 問題5は、-2、-1、0、1、2が書かれたカードを利用する確率の問題とした。5枚から1枚のカードを引く問題は正答率が高く良好な結果であったが、複数枚のカードを引く問題は、誤答率・無答率が高かった。複雑な「場合の数」の求め方に課題があると考えられるので、樹形図や二次元の表などを利用して起こりうるすべての場合を的確に求めることができる重要性を指導することが大切である。
- 6 問題6は、立方体と球を題材にして立体図形を考察する問題とした。ある面について考察する問題は正答率が高く良好な結果であったが、立体を把握して体積を求めたり、切断面を考察する問題は、誤答率・無答率が高かった。資料から必要な条件を見つけ出し計量することに課題があると考えられるので、立体を多角的に分析し論理的に考察する態度の育成が重要である。

## 《 理 科 》

### 【出題の基本方針】

- 1 自然に対する、基礎的・基本的な事項について理解できているかをみる。
- 2 身近な自然の事物・現象に興味・関心をもち、科学的に調べる態度が育っているかをみる。
- 3 自然の事物・現象の中に規則性・法則性を見いだすなど、科学的な見方や考え方ができているかをみる。
- 4 観察・実験で得た結果を処理し、総合的に考察して、自らの考えを導き出し、表現する力が身につけているかをみる。

### 【結果の概要】

- 1 問題1は、生物分野に関する出題とした。植物の根・茎のつくりや蒸散についての基礎的・基本的な事項の理解度をみる問題である。全体的に正答率が高く、基礎・基本の定着が見られるが、問5の葉の表と裏での蒸散量の違いを問う問題では正答率が約53%と少し低くなっている。知識を活用して実験結果を予想する活動を取り入れるなど、授業の工夫が必要である。
- 2 問題2は、物理分野に関する出題とした。物体にはたらく力やばねで持ち上げる実験で得た結果を処理し、考察させる問題である。全体的に正答率が低かったが、その中でも、問3(2)のばねが物体を引く力を作図させる問題や、(3)の物体にはたらく力を計算させる問題が約30%と低かった。平素から、作図などの表現力の向上や実験結果を処理し活用する能力の育成を重視した指導の工夫が必要である。
- 3 問題3は、化学分野に関する出題とした。気体やイオンに関する総合的な問題である。問4(1)の酸と金属の反応を化学反応式で書かせる問題は、正答率が約13%と低く、無答率も約16%と高かった。授業で扱う実験については化学反応式で表現できる力を身につけさせたい。問3(2)の酸性の原因となるイオンについて問う問題も正答率が約46%と低く、物質やイオンに関する基本的概念について、正確に理解させることが必要である。
- 4 問題4は、地学分野に関する出題とした。火山や火成岩、示準化石に関する総合的な問題である。全体的に正答率が高かったが、問5の示準化石の定義を説明させる問題の正答率だけが約29%と低かった。単なる重要語句の定着にとどまらず、語句の意味や定義を理解させる工夫が必要である。
- 5 問題5は、物理分野に関する出題とした。音や電磁誘導に関する総合的な問題である。全体的に正答率が高く概ね良好であった。ただし、問4の電流がつくる磁界の向きと磁石が受ける力の向きを問う問題は正答率が約25%と低かった。実験の条件を変えたときの結果を推察できる科学的思考力を身につけさせたい。
- 6 問題6は、生物分野に関する出題とした。生物の発生や遺伝の法則に関する総合的な問題である。全体的に正答率が高くなっているが、問1の両生類のなかまを選ばせる問題や、問4の細胞の染色体の数を問う問題の正答率が、それぞれ約52%と約37%と低かった。基礎・基本を確実に定着させる工夫が必要である。
- 7 問題7は、化学分野に関する出題とした。鉄と硫黄の化合に関する問題である。問1の加熱をやめても反応が続く理由を説明させる問題は正答率が約30%、問5の反応に必要な鉄粉の質量を計算させる問題は正答率が約39%と低かった。表現力を向上させる工夫や、データから条件を読み取り、正確に計算できる力を育てることが重要である。
- 8 問題8は、地学分野に関する出題とした。惑星や金星に関する理解度をみる問題である。基礎的・基本的な事柄を問う問題は正答率が80%を超えているが、金星のデータを活用し、地球からの見え方を問う問題では、正答率が低くなっている。平素の授業の中で、空間的な概念を定着させ、科学的に考察する力を伸ばしていく工夫が必要である。

## 《 英 語 》

### 【出題の基本方針】

- 1 「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」及び「書くこと」の各領域にわたる基礎的・基本的事項が身につけているかをみる。
- 2 日常生活の身近な事柄などについて、短い英文やまとまりのある英語の文章を聞いて、情報を正確に聞き取ったり、話し手の意向などを理解したりする力をみる。
- 3 日常生活の身近な事柄などについて、初歩的な英語を用いて、自分の考えなどを表現する力をみる。
- 4 説明文や会話文を読んで、本文の流れを理解したり、重要な情報を正確に読み取ったりする力をみる。
- 5 物語文を読んで、本文の展開や、登場人物の考えや気持ちなどを読み取る力をみる。

### 【結果の概要】

- 1 問題1の「聞くこと」に関する問題では、疑問詞を使った質問に正しく応じる設問の正答率は高いが、まとまりのある英文や会話文において、複数の情報の中から求められているものを選択して解答する設問の正答率は低く、概要や要点を適切に聞き取ることに課題がある。  
自然な口調で読まれるまとまりのある英文を聞いて、情報を正確に聞き取る練習が必要である。
- 2 問題2及び問題3の「書くこと」に関する問題では、日常的によく使用される口語表現を問う設問については正答率は高いが、会話文の中で、文脈に即して適切な表現を解答する設問や、指示された場面に応じて適切に表現する設問については正答率が低い。  
よく使われる表現については、実際に使われる場面を想定して練習することが必要である。それぞれの表現が身につくよう、授業での言語活動をとおして使用機会を増やすことが求められる。
- 3 問題3の「読むこと」に関する問題では、話の展開に従って絵を順に選ぶ設問や、登場人物の考え方の変化を読み取る設問については、正答率が高い。  
平易な英文については、概して、大まかな流れが理解できていると言える。
- 4 問題4の「読むこと」に関する問題では、会話の流れを理解し、登場する人物が説明したことを読み取って日本語で解答したり、登場人物の発言内容や考えをまとめて英語で解答したりする設問については正答率が低い。  
一文一文の解釈にとどまらず、本文をとおして読んで理解した内容について、既習の表現や自分の言葉で表現する活動を行う必要がある。
- 5 問題5の「読むこと」に関する問題では、ある程度の長さのある「物語文」を扱った。  
物語のあらすじや内容から判断して、適切な英語を記号で補充したり、本文の内容に合致する日本語を選んだりする問題は正答率が高いが、物語の展開から考えられる登場人物の行動の動機を判断し、記述して解答する設問については正答率が低い。  
できるだけ多くの英文に触れたり、発問をとおして、英文に記されている重要な事柄や読み取れる情報を、文脈や展開の中で関連づけてまとめて表現する言語活動を充実させる必要がある。

平成26年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【国語】(答案数:206)

		内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率
問題一	問一	① 漢字の読み	記述	202	98.1%	0	0.0%	4	1.9%	0	0.0%
		② 漢字の読み	記述	194	94.2%	0	0.0%	12	5.8%	0	0.0%
	問二	文脈理解	記述	87	42.2%	62	30.1%	53	25.7%	4	1.9%
	問三	文法理解	記号	113	54.9%	0	0.0%	91	44.2%	2	1.0%
	問四	語句の知識	記号	78	37.9%	0	0.0%	128	62.1%	0	0.0%
	問五	語句の知識	記述	157	76.2%	0	0.0%	45	21.8%	4	1.9%
	問六	漢文の知識	記号	149	72.3%	0	0.0%	55	26.7%	2	1.0%
	問七	話すこと・聞くこと	記号	195	94.7%	0	0.0%	11	5.3%	0	0.0%
問八	書写の知識	記号	178	86.4%	0	0.0%	28	13.6%	0	0.0%	
問題二	問一	① 漢字の書き	記述	144	69.9%	0	0.0%	51	24.8%	11	5.3%
		② 漢字の書き	記述	94	45.6%	0	0.0%	96	46.6%	16	7.8%
	問二	内容理解	記述	6	2.9%	1	0.5%	169	82.0%	30	14.6%
	問三	文脈理解	記号	62	30.1%	0	0.0%	144	69.9%	0	0.0%
	問四	文脈理解	記号	116	56.3%	0	0.0%	90	43.7%	0	0.0%
	問五	内容理解	記述	28	13.6%	35	17.0%	92	44.7%	51	24.8%
	問六	① 内容理解	記述	30	14.6%	0	0.0%	144	69.9%	32	15.5%
		② 内容理解	記述	124	60.2%	0	0.0%	41	19.9%	41	19.9%
問七	文章構成	記号	140	68.0%	0	0.0%	64	31.1%	2	1.0%	
問題三	問一	文法理解	記号	178	86.4%	0	0.0%	28	13.6%	0	0.0%
	問二	内容理解	記号	168	81.6%	0	0.0%	38	18.4%	0	0.0%
	問三	心情理解	記号	151	73.3%	0	0.0%	54	26.2%	1	0.5%
	問四	内容理解	記号(イ)	156	75.7%	0	0.0%	43	20.9%	7	3.4%
		内容理解	記号(オ)	163	79.1%	0	0.0%	36	17.5%	7	3.4%
	問五	文脈理解	記述	28	13.6%	25	12.1%	112	54.4%	41	19.9%
	問六	心情理解	記述	33	16.0%	30	14.6%	76	36.9%	67	32.5%
	問七	① 表現理解	記述	168	81.6%	0	0.0%	30	14.6%	8	3.9%
② 表現理解		記号	130	63.1%	0	0.0%	70	34.0%	6	2.9%	
問八	表現理解	記号	42	20.4%	0	0.0%	153	74.3%	11	5.3%	
問題四	問一	歴史的仮名遣い	記述	157	76.2%	0	0.0%	44	21.4%	5	2.4%
	問二	内容理解	記号	70	34.0%	0	0.0%	128	62.1%	8	3.9%
	問三	文法理解	記号	126	61.2%	0	0.0%	75	36.4%	5	2.4%
	問四	内容理解	記号	73	35.4%	0	0.0%	125	60.7%	8	3.9%
	問五	内容理解	記述	14	6.8%	0	0.0%	134	65.0%	58	28.2%
	問六	内容理解	記述	9	4.4%	18	8.7%	87	42.2%	92	44.7%
問題五	作文	記述	39	18.9%	124	60.2%	34	16.5%	9	4.4%	

平成26年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【社会】(答案数:206)

		内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率	
問題1	問1	1	日付変更線	記号選択	128	62.1%	0	0.0%	78	37.9%	0	0.0%
		2	緯線と経線が直角に交わる地図	記号選択	98	47.6%	0	0.0%	108	52.4%	0	0.0%
		3	地球上の位置	記号選択	172	83.5%	0	0.0%	34	16.5%	0	0.0%
		4	世界の気候と農業	記号選択	107	51.9%	0	0.0%	98	47.6%	1	0.5%
		5	バイオ燃料	語句記述	155	75.2%	0	0.0%	40	19.4%	11	5.3%
		6	人口ピラミッド	記号選択	119	57.8%	0	0.0%	85	41.3%	2	1.0%
	問2	1	七地方区分	記号選択	179	86.9%	0	0.0%	27	13.1%	0	0.0%
		2	ハザードマップ	記号選択	179	86.9%	0	0.0%	27	13.1%	0	0.0%
		3	地図帳の見方	記号選択	54	26.2%	0	0.0%	152	73.8%	0	0.0%
		4	日本の森林	記号選択	112	54.4%	0	0.0%	94	45.6%	0	0.0%
		5A	東北地方の工業の特色	語句記述	44	21.4%	0	0.0%	142	68.9%	20	9.7%
		5B	電気機械工業進出の理由	語句記述	137	66.5%	0	0.0%	59	28.6%	10	4.9%
		記号	日本の各地方の工業の特色	記号選択	91	44.2%	0	0.0%	112	54.4%	3	1.5%
地理的分野				1575	58.8%	0	0.0%	1056	39.4%	47	1.8%	
問題2	問1	1	廃藩置県	語句記述	140	68.0%	0	0.0%	42	20.4%	24	11.7%
		2	明治時代の文化	記号選択	96	46.6%	0	0.0%	110	53.4%	0	0.0%
		3	元寇	記号選択	146	70.9%	0	0.0%	60	29.1%	0	0.0%
		4	江戸時代の打ちこわし	語句記述	84	40.8%	0	0.0%	117	56.8%	5	2.4%
		5	平安時代の建造物	記号選択	87	42.2%	0	0.0%	118	57.3%	1	0.5%
		6	墾田永年私財法	説明	36	17.5%	28	13.6%	114	68.9%	28	13.6%
		7	時代の把握	並べ替え	77	37.4%	0	0.0%	127	61.7%	2	1.0%
	問2	1	条約改正の時期	記号選択	98	47.6%	0	0.0%	107	51.9%	1	0.5%
		2	八幡製鉄所	説明	4	1.9%	41	19.9%	126	81.1%	35	17.0%
		3	ポーツマス条約での国境	記号選択	83	40.3%	0	0.0%	123	59.7%	0	0.0%
		4	日本国際社会復帰の契機	記号選択	120	58.3%	0	0.0%	85	41.3%	1	0.5%
		歴史的分野				971	42.9%	69	3.0%	1129	52.9%	97
問題3	問1	1	国会	記号選択	40	19.4%	0	0.0%	166	80.6%	0	0.0%
		2	地域経済統合	記号選択	132	64.1%	0	0.0%	74	35.9%	0	0.0%
		3	人権の保障を実現するための権利	記号選択	56	27.2%	0	0.0%	148	71.8%	2	1.0%
		4	衆議院の優越	説明	124	60.2%	10	4.9%	61	34.5%	11	5.3%
	問2	1	条例制定の請求	記号選択	98	47.6%	0	0.0%	107	51.9%	1	0.5%
		2	地方交付税交付金	語句記述	117	56.8%	3	1.5%	77	38.8%	9	4.4%
		3	日本の環境問題	記号選択	107	51.9%	0	0.0%	98	47.6%	1	0.5%
	問3	1	コンビニエンスストアの営業	記号選択	141	68.4%	0	0.0%	64	31.1%	1	0.5%
		2	電子マネー	語句記述	67	32.5%	0	0.0%	132	64.1%	7	3.4%
		3	消費税	記号選択	128	62.1%	0	0.0%	77	37.4%	1	0.5%
		4	コンビニが近距離で出店する理由	説明	74	35.9%	43	20.9%	67	53.4%	22	10.7%
	公民的分野				1084	47.8%	56	2.5%	1071	49.7%	55	2.4%
合計				3630	50.3%	125	1.7%	3256	46.9%	199	2.8%	

平成26年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【数学】（答案数：206）

		内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率
問題1	問1	(1) 正の数・負の数の計算	計算	200	97.1%	0	0.0%	6	2.9%	0	0.0%
		(2) 分数の計算・負の数	計算	192	93.2%	0	0.0%	12	5.8%	2	1.0%
		(3) 根号を含む式の計算	計算	176	85.4%	0	0.0%	25	12.1%	5	2.4%
		(4) 多項式の計算（差）	計算	180	87.4%	0	0.0%	21	10.2%	5	2.4%
		(5) 単項式の計算（乗・除）	計算	87	42.2%	0	0.0%	113	54.9%	6	2.9%
	問2	分数の分母の有理化	計算	171	83.0%	0	0.0%	24	11.7%	11	5.3%
	問3	因数分解	計算	182	88.3%	0	0.0%	16	7.8%	8	3.9%
	問4	等式の変形	計算	113	54.9%	0	0.0%	72	35.0%	21	10.2%
	問5	二次方程式の解の公式	計算	164	79.6%	0	0.0%	22	10.7%	20	9.7%
	問6	平行線と角	計算	138	67.0%	0	0.0%	63	30.6%	5	2.4%
	問9	(1) 円の中心の作図	作図	106	51.5%	0	0.0%	87	42.2%	13	6.3%
(2) 半円の中心の作図		作図	165	80.1%	9	4.4%	15	7.3%	17	8.3%	
(1) 円周角、三角形の相似の証明		証明記述	114	55.3%	32	15.5%	18	8.7%	42	20.4%	
問題2	問1	ア 度数	計算	198	96.1%	0	0.0%	5	2.4%	3	1.5%
		イ 相対度数	計算	158	76.7%	0	0.0%	34	16.5%	14	6.8%
	問2	平均値	計算	85	41.3%	0	0.0%	93	45.1%	28	13.6%
問3	データの読み取り	記号選択	105	51.0%	0	0.0%	95	46.1%	6	2.9%	
問題3	問1	ア 割合の計算	計算	154	74.8%	0	0.0%	45	21.8%	7	3.4%
		イ 割合の計算	計算	130	63.1%	0	0.0%	65	31.6%	11	5.3%
		① 連立方程式の立式	式	143	69.4%	0	0.0%	42	20.4%	21	10.2%
		② 連立方程式の立式	式	77	37.4%	1	0.5%	106	51.5%	22	10.7%
		ウ 連立方程式の解	計算	91	44.2%	0	0.0%	73	35.4%	42	20.4%
	エ 連立方程式の解	計算	89	43.2%	0	0.0%	69	33.5%	48	23.3%	
問2	割合の計算、連立方程式の利用、比	計算	21	10.2%	1	0.5%	118	57.3%	66	32.0%	
問題4	問1	二次関数の係数の決定	計算	142	68.9%	1	0.5%	50	24.3%	13	6.3%
	問2	条件を満たす点の座標、二次方程式	計算	36	17.5%	0	0.0%	88	42.7%	82	39.8%
	問3	正方形を2等分する直線の傾き	計算	10	4.9%	3	1.5%	78	37.9%	115	55.8%
問題5	問1	確率の計算	計算	188	91.3%	0	0.0%	11	5.3%	7	3.4%
	問2	確率の計算、整数の性質	計算	101	49.0%	0	0.0%	91	44.2%	14	6.8%
	問3	確率の計算、整数の性質	計算	32	15.5%	1	0.5%	99	48.1%	74	35.9%
問題6	問1	三平方の定理	計算	155	75.2%	3	1.5%	36	17.5%	12	5.8%
	問2	三角錐の体積	計算	88	42.7%	0	0.0%	74	35.9%	44	21.4%
	問3	三平方の定理、球の切断	計算	48	23.3%	0	0.0%	65	31.6%	93	45.1%

平成26年度 鳥取県高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【理科】(答案数:206)

		内容	出題形式		正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率
問題1	問1	茎のつくり	記述	作図	126	61.2%	0	0.0%	79	38.3%	1	0.5%
	問2	茎のつくり	選択	記号選択	112	54.4%	0	0.0%	94	45.6%	0	0.0%
	問3	根のつくり	記述	説明	112	54.4%	0	0.0%	82	39.8%	12	5.8%
	問4	顕微鏡の使い方	選択	記号選択	143	69.4%	0	0.0%	63	30.6%	0	0.0%
	問5	蒸散量の違い	選択	並べ替え	109	52.9%	2	1.0%	94	45.6%	1	0.5%
問題2	問1	圧力の計算	記述	計算	82	39.8%	0	0.0%	118	57.3%	6	2.9%
	問2	垂直抗力と圧力	選択	記号選択	90	43.7%	0	0.0%	116	56.3%	0	0.0%
	問3 (1)	ばねののびと台ばかりの値のグラフ	記述	作図	91	44.2%	0	0.0%	97	47.1%	18	8.7%
	問3 (2)	ばねが物体を引く力の作図	記述	作図	61	29.6%	0	0.0%	135	65.5%	10	4.9%
	問3 (3)	物体にはたらく力	記述	計算	57	27.7%	0	0.0%	117	56.8%	32	15.5%
問題3	問1	気体の性質	選択	記号選択	120	58.3%	0	0.0%	86	41.7%	0	0.0%
	問2	気体の捕集方法	記述	語句	110	53.4%	0	0.0%	94	45.6%	2	1.0%
	問3 (1)	塩酸に含まれるイオン	選択	記号選択	97	47.1%	0	0.0%	108	52.4%	1	0.5%
	問3 (2)	酸性の原因となるイオン	記述	語句	94	45.6%	0	0.0%	96	46.6%	16	7.8%
	問4 (1)	化学反応式	記述	化学式等	26	12.6%	3	1.5%	145	70.4%	32	15.5%
	問4 (2)	塩酸とマグネシウムの反応	選択	記号選択	172	83.5%	0	0.0%	31	15.0%	3	1.5%
問題4	問1	火成岩のつくり	記述	語句	118	57.3%	0	0.0%	84	40.8%	4	1.9%
	問2	マグマのねばりけと噴火のようす	選択	記号選択	134	65.0%	0	0.0%	72	35.0%	0	0.0%
	問3	プレートの動き	選択	記号選択	173	84.0%	0	0.0%	33	16.0%	0	0.0%
	問4	日本上空に吹いている風	記述	語句	126	61.2%	0	0.0%	75	36.4%	5	2.4%
	問5	示準化石の特徴	記述	説明	60	29.1%	13	6.3%	112	54.4%	21	10.2%
問題5	問1	音の伝わり方	記述	語句	152	73.8%	0	0.0%	49	23.8%	5	2.4%
	問2	音の波形の特徴	選択	記号選択	173	84.0%	0	0.0%	33	16.0%	0	0.0%
	問3	電磁誘導	記述	語句	138	67.0%	0	0.0%	54	26.2%	14	6.8%
	問5	電流の強さとコイルの巻き数と磁力	選択	記号選択	179	86.9%	0	0.0%	27	13.1%	0	0.0%
	問4	電流がつくる磁界	選択	記号選択	52	25.2%	0	0.0%	154	74.8%	0	0.0%
問題6	問1	両生類のなかま	選択	記号選択	107	51.9%	0	0.0%	99	48.1%	0	0.0%
	問2	受精卵の卵割	選択	並べ替え	178	86.4%	0	0.0%	27	13.1%	1	0.5%
	問3	生殖細胞	記述	語句	142	68.9%	0	0.0%	58	28.2%	6	2.9%
	問4	染色体の数	記述	その他	77	37.4%	0	0.0%	119	57.8%	10	4.9%
	問5	メンデルの法則	記述	計算	129	62.6%	0	0.0%	71	34.5%	6	2.9%
問題7	問1	鉄と硫黄の化合	記述	説明	61	29.6%	9	4.4%	119	57.8%	17	8.3%
	問2	硫化鉄の性質	選択	記号選択	146	70.9%	0	0.0%	59	28.6%	1	0.5%
	問3	硫化鉄の化学式	記述	化学式等	137	66.5%	0	0.0%	59	28.6%	10	4.9%
	問4	分子からできていない物質	選択	記号選択	95	46.1%	0	0.0%	105	51.0%	6	2.9%
	問5	鉄と硫黄の化合の質量比	記述	計算	80	38.8%	0	0.0%	105	51.0%	21	10.2%
問題8	問1	地球型惑星について	選択	記号選択	171	83.0%	0	0.0%	32	15.5%	3	1.5%
	問2	惑星の特徴	選択	記号選択	176	85.4%	0	0.0%	27	13.1%	3	1.5%
	問3	金星の公転	選択	記号選択	60	29.1%	0	0.0%	144	69.9%	2	1.0%
	問4	金星の見え方	選択	記号選択	67	32.5%	0	0.0%	136	66.0%	3	1.5%
	問5	金星のみかけの大きさ	記述	説明	85	41.3%	7	3.4%	92	44.7%	22	10.7%

平成26年度鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【英語】(答案数:206)

問題番号	内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率		
問題1	問1	No.1	短文の聞き取り(標識選択)	記号選択	199	96.6%	0	0.0%	7	3.4%	0	0.0%
		No.2	短文の聞き取り(イラスト選択)	記号選択	160	77.7%	0	0.0%	46	22.3%	0	0.0%
		No.3	短文の聞き取り(表選択)	記号選択	94	45.6%	0	0.0%	112	54.4%	0	0.0%
	問2	No.1	対話の聞き取り	記号選択	54	26.2%	0	0.0%	151	73.3%	1	0.5%
		No.2	対話の聞き取り	記号選択	80	38.8%	0	0.0%	126	61.2%	0	0.0%
	問3	(1)	まとまりのある説明の聞き取り	語句補充	112	54.4%	0	0.0%	72	35.0%	22	10.7%
		(2)	まとまりのある説明の聞き取り	語句補充	139	67.5%	0	0.0%	63	30.6%	4	1.9%
		(3)	まとまりのある説明の聞き取り	語句補充	46	22.3%	19	9.2%	120	58.3%	21	10.2%
	問4	Ques.1	まとまりのある対話の聞き取り	記号選択	152	73.8%	0	0.0%	54	26.2%	0	0.0%
		Ques.2	まとまりのある対話の聞き取り	記号選択	172	83.5%	0	0.0%	34	16.5%	0	0.0%
		Ques.3	まとまりのある対話の聞き取り	記号選択	174	84.5%	0	0.0%	31	15.0%	1	0.5%
	問題2	問1	①	対話文中の単語補充	単語補充	185	89.8%	0	0.0%	19	9.2%	2
②			対話文中の単語補充	単語補充	97	47.1%	2	1.0%	96	46.6%	11	5.3%
問2		(1)	対話文中の語句整序作文	語句整序	118	57.3%	6	2.9%	77	37.4%	5	2.4%
		(2)	対話文中の単語補充	単語補充	127	61.7%	0	0.0%	74	35.9%	5	2.4%
問題3	問1	内容把握(イラスト整序)	記号整序	176	85.4%	0	0.0%	29	14.1%	1	0.5%	
	問2	内容把握(日本文選択)	記号選択	146	70.9%	0	0.0%	60	29.1%	0	0.0%	
	問3	内容把握(英文選択)	記号選択	131	63.6%	0	0.0%	73	35.4%	2	1.0%	
	問4	登場人物に対する電子メール作文	自由英作文	49	23.8%	92	44.7%	31	15.0%	34	16.5%	
問題4	問1	内容把握(地図上地点特定)	記号選択	156	75.7%	0	0.0%	50	24.3%	0	0.0%	
	問2	内容把握(文脈理解)	日本文記述	78	37.9%	5	2.4%	106	51.5%	17	8.3%	
	問3	内容把握(日本文選択)	記号選択	182	88.3%	0	0.0%	24	11.7%	0	0.0%	
	問4	内容把握(要約文空所補充)	単語補充	43	20.9%	41	19.9%	99	48.1%	23	11.2%	
	問5	概要把握(英文選択)	記号選択	150	72.8%	0	0.0%	56	27.2%	0	0.0%	
問題5	問1	内容把握(日本文選択)	記号選択	192	93.2%	0	0.0%	14	6.8%	0	0.0%	
	問2	内容把握(適語補充)	記号選択	149	72.3%	0	0.0%	57	27.7%	0	0.0%	
	問3	内容把握(文脈理解)	日本文記述	101	49.0%	25	12.1%	48	23.3%	32	15.5%	
	問4	内容把握(文脈理解)	日本文記述	101	49.0%	2	1.0%	63	30.6%	40	19.4%	
	問5	内容把握(文脈理解)	日本文記述	39	18.9%	46	22.3%	78	37.9%	43	20.9%	
	問6	内容把握(文脈理解)	語句補充	66	32.0%	26	12.6%	79	38.3%	35	17.0%	
		内容把握(英文選択)	記号選択	135	65.5%	0	0.0%	68	33.0%	3	1.5%	
問7	内容把握(英文選択)	記号選択	151	73.3%	0	0.0%	52	25.2%	3	1.5%		